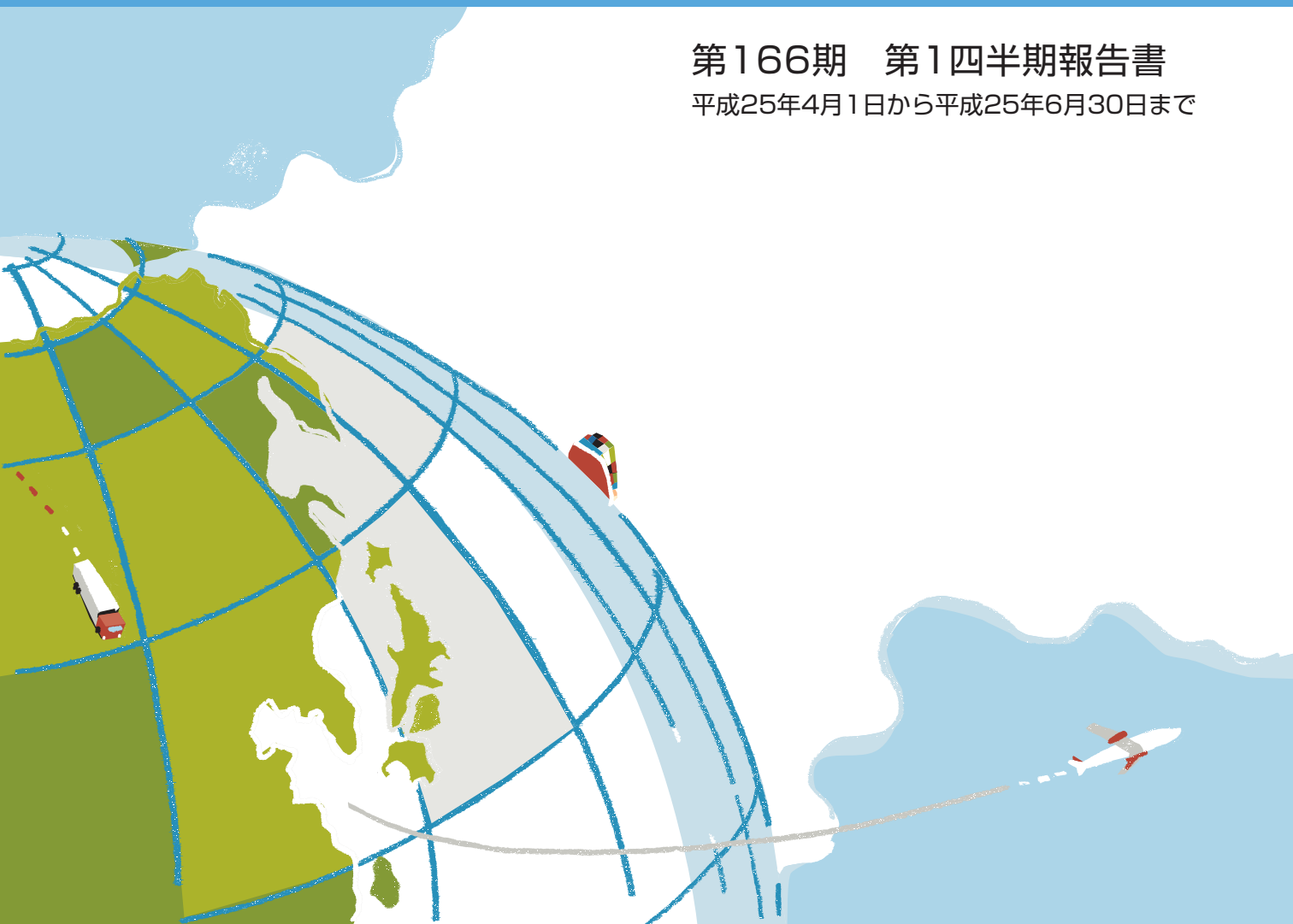


株主の皆様へ

第166期 第1四半期報告書

平成25年4月1日から平成25年6月30日まで



モノを動かす。心で動かす。



MITSUI-SOKO

第1四半期(連結)のハイライト

	平成26年3月期第1四半期	平成25年3月期(参考)
営業収益	384億8,100万円 (前同期比+12.3%)	1,482億4,100万円
営業利益	11億3,100万円 (前同期比-8.9%)	53億6,200万円
経常利益	10億3,600万円 (前同期比-3.9%)	37億4,600万円
四半期(当期)純利益	22億5,400万円 (前同期比+662.5%)	31億6,600万円
1株当たり四半期(当期)純利益	18円15銭 (前同期比+662.5%)	25円49銭

<平成26年3月期の連結業績予想> 営業収益▶1,590億円 営業利益▶62億円 経常利益▶47億円 当期純利益▶50億円

目次

ごあいさつ	1
第1四半期(連結)の概況	2
トピックス	4
会社の概要	5
株式の状況	5

<注記>

この冊子においては、将来の見通しに関する記述が様々な表現でなされており、その見通しはリスクや不確実性に左右され、実際の結果と大きく異なることも考えられます。読者の皆様には、これらの将来に関する記述に過度に依存なさらないようお願いいたします。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第166期第1四半期の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当第1四半期の日本経済は、円高傾向の是正を背景に輸出が持ち直し、景気回復の兆しが見られるようになってきました。一方、物流業界においては、保管残高こそ安定的に推移しているものの、入庫高や出庫高が前年同月比マイナス基調にあるなど、景気回復の効果が十分に波及しているとは言いがたい状況が続いております。

こうした中、当社グループは、中期経営計画「MOVE 2 0 1 3」（2014年3月期から2016年3月期まで）で掲げた「アジアパシフィックにおける成長領域への集中投資」「プラットフォーム型サービスの開発と展開」「資産ポートフォリオの最適化」の3つの事業方針のもと、業容の拡大と収益力の強化に取り組みました。こうした取り組みの結果、当第1四半期の連結業績は、営業収益及び四半期純利益で前年同期を上回り、通期の計画達成に向けてほぼ順調なスタートを切ることができました。

現在、高い成長が見込まれるタイや韓国などアジアパシフィック地域での倉庫建設を推進しているほか、関西地域において医薬品専用倉庫の第2拠点建設用地を取得し、今後大きな拡大が期待できるヘルスケア産業の物流への取り組みを強化いたしております。また、神戸などで保有していた土地の売却を行い、資産の入替えも着実に進めているところでございます。

わが国物流業界の事業環境は今後も厳しい状況が続くものと予想されますが、当社グループは、全力をあげて中期経営計画「MOVE 2 0 1 3」の目標達成と企業価値の持続的な向上を目指してまいります。株主の皆様には、こうした当社の方針をご理解いただき、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成25年9月

代表取締役社長 藤岡 圭

第1四半期(連結)の概況 (平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)

全般の概況

わが国経済に自立的回復の兆しも見られるようになってきている中、物流業界におきましては、営業普通倉庫21社統計1～3類倉庫の保管残高は安定的に推移しているものの、入出庫高は前年同月比マイナス基調が継続するなど、景気回復の効果が十分に波及しているとは言いがたい状況にあります。

こうした経済環境のもとで、当第1四半期連結累計期間の業績は、倉庫事業は荷役作業、一般貨物運送取扱などが堅調に推移したこと増収となったものの、貨物が輻輳したことに伴う一時的コストの発生により減益となりました。港湾運送事業は営業収益はほぼ横ばいで推移したものの、既存顧客船社の取扱が堅調に推移したこと増益となりました。グローバルネットワーク事業は、欧州での新規連結子会社の寄与、北米や、アジア各地域における取扱量の増加などから増収増益となりました。国際輸送事業は北米向け取扱が堅調に推移したことなどから増収増益となり、航空事業は前第2四半期会計期間より統合した三井倉庫エクスプレス(株)が寄与したことなどから増収増益となりました。ロジスティクスシステム事業は新規業務の受託等により増収となったものの、初期費用の発生等から減益となりました。BPO事業は既存顧客のスポット業務取扱などから増収となったものの、一時費用の発生などから減益となりました。また、不動産事業においては、前期に資産効率改善の観点から賃貸施設を売却したこと減収減益となりました。

これらの結果、連結営業収益は前年同期比42億1千万円増の384億8千1百万円、連結営業利益は同1億1千万円減の11億3千1百万円、連結経常利益は同4千1百万円減の10億3千6百万円となり、連結四半期純利益は同19億5千8百万円増の22億5千4百万円となりました。

財政状態の変動状況

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、手元資金による長期借入金削減等を行ったことなどから前連結会計年度末比23億7千6百万円減少し、2,304億9千5百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上に加え、円安による為替換算調整勘定の増加等もあり、前連結会計年度末より36億5千3百万円増加し、613億4千9百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等による資金留保などにより前年同期に比べ34億6千8百万円の収入の増加の26億8百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、三宮駐車場など固定資産売却による収入があった一方、海外における倉庫用地の取得や賃貸ビルの修繕に伴う支出等があったことから25億円の支出となり、新規連結子会社の株式取得に係る支出があった前年同期に比べ269億1千5百万円の支出の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金について借入による収入よりも返済による支出が大きかったことから45億8千2百万円の支出となり、社債発行、長短借入金が増となった前年同期に比べ144億9千万円の収入の減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末より35億7千7百万円減の260億円となりました。

(単位：百万円)

	第1四半期 (3ヵ月累計)	第2四半期予想 (3ヵ月累計)	第2四半期連結累計期間予想 (6ヵ月累計)	通期予想 (平成26年3月期)	前通期実績 (平成25年3月期)
営業収益	38,481	39,518	78,000	159,000	148,241
営業利益	1,131	1,468	2,600	6,200	5,362
経常利益	1,036	663	1,700	4,700	3,746
当期純利益	2,254	1,345	3,600	5,000	3,166

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末 平成25年6月30日	前期末 平成25年3月31日
(資産の部)		
流動資産	57,150	61,070
固定資産	173,345	171,802
有形固定資産	119,291	118,488
無形固定資産	30,719	31,206
投資その他の資産	23,334	22,107
資産合計	230,495	232,872
(負債の部)		
流動負債	57,197	59,536
固定負債	111,948	115,639
負債合計	169,146	175,176
(純資産の部)		
資本金	11,100	11,100
資本剰余金	5,563	5,563
利益剰余金	37,641	35,961
自己株式	△99	△99
その他有価証券評価差額金	4,038	3,554
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	△84	△1,317
少数株主持分	3,189	2,929
純資産合計	61,349	57,696
負債純資産合計	230,495	232,872

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで	前年同期 平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益	2,430	292
その他の包括利益	1,804	△59
その他有価証券評価差額金	484	△515
繰延ヘッジ損益	△4	△1
為替換算調整勘定	1,147	444
持分法適用会社に対する持分相当額	177	12
四半期包括利益	4,235	232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,967	200
少数株主に係る四半期包括利益	268	32

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで	前年同期 平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで
営業収益	38,481	34,271
営業原価	33,747	29,975
営業総利益	4,733	4,296
販売費及び一般管理費	3,602	3,053
営業利益	1,131	1,242
営業外収益	508	452
営業外費用	603	616
経常利益	1,036	1,078
特別利益	2,662	—
特別損失	—	226
税金等調整前四半期純利益	3,699	851
法人税等	1,268	559
少数株主損益調整前四半期純利益	2,430	292
少数株主利益又は損失(△)	176	△3
四半期純利益	2,254	295

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで	前年同期 平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,608	△859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,500	△29,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,582	9,908
現金及び現金同等物に係る換算差額	896	213
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△3,577	△20,154
現金及び現金同等物の期首残高	29,577	51,934
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	3
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,000	31,784

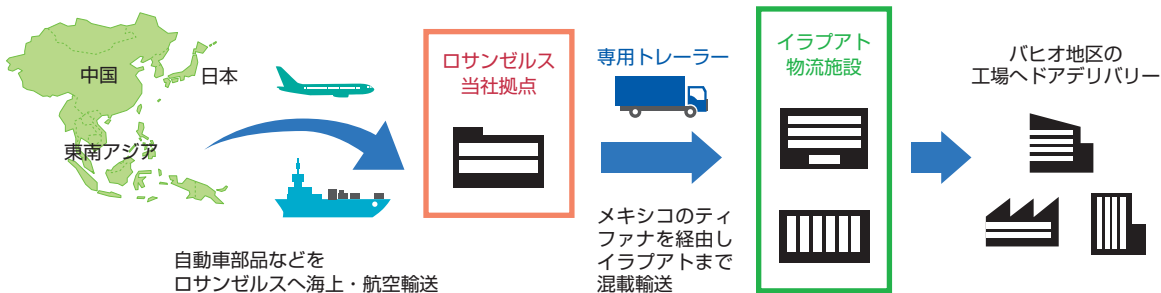
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

TOPICS

メキシコ中央高原向け定期混載トレーラーサービスを開始 ～日本・アジア発のグローバル物流サービスに新展開～

メキシコ中央高原地帯（バヒオ地区）には、多くの欧米及び日系の自動車メーカーが生産拠点を置いており、新興国の経済成長を背景に増産計画が相次いでいます。当社グループでは、こうした自動車・部品メーカー向けの物流プラットフォームとして、本年10月、新しい定期混載トレーラーサービス「バヒオ・エクスプレス」を開始いたします。

■ 「バヒオ・エクスプレス」の概要



このサービスは、自動車部品などをアジア各地域から米国ロサンゼルスに海上・航空輸送し、当社拠点を經由してメキシコ側のティファナへ移送したのち、専用トレーラーでバヒオ地区の中心都市イラプアトまで混載輸送するものです。船便・航空便数が多く、通関体制の整ったロサンゼルスを経由することで、日本・アジア発の海上・航空輸送網が容易に利用でき、また、メキシコ国内の輸送所要日数の安定化を可能にいたします。

本サービスは、当社が推進している中期経営計画「MOVE2013」の事業方針である「プラットフォーム型サービスの開発と展開」の具体化のひとつであるとともに、グローバル物流サービスに新たな展開を切り拓くものです。今後も、当社グループならではのネットワークとノウハウを活かしたサービスを開発・提供し、日々高度化する顧客ニーズに対応してまいります。

会社の概要

- 商 号 三井倉庫株式会社
(英文社名：MITSUI-SOKO Co.,Ltd.)
- 設 立 明治42年(1909年)10月11日
- 本 社 東京都港区西新橋三丁目20番1号
- 主な国内拠点 東京、横浜、名古屋、大阪、神戸
- 海外拠点 アメリカ、カナダ、チェコ、ポーランド、
ベルギー、イギリス、トルコ、南アフリカ、
アラブ首長国連邦、シンガポール、
マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、
ベトナム、インド、香港、中国、台湾、韓国
- 主 な 事 業 倉庫事業
港湾運送事業
グローバルネットワーク事業
国際輸送事業
航空事業
ロジスティクスシステム事業
BPO事業
不動産事業
- 資 本 金 11,100,714,274円
- 従 業 員 815名(他に出向者60名)
(平成25年
6月30日現在)
- 三井倉庫グループ会社(平成25年6月30日現在)

連結子会社 58社

主要な子会社

三井倉庫ロジスティクス(株)
三井倉庫エクスプレス(株)
三井倉庫九州(株)
三井倉庫港運(株)
三井倉庫ビジネスパートナーズ(株)
三井倉庫(中国)投資有限公司
MITSUI-SOKO INTERNATIONAL PTE. LTD.
MITEX LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD.
MITSUI-SOKO (TAIWAN) CO., LTD.
MITEX INTERNATIONAL (HONG KONG) LTD.
MITSUI-SOKO (SINGAPORE) PTE. LTD.
MITSUI-SOKO (U. S. A.) INC.

持分法適用関連会社 9社

株式の状況 (平成25年6月30日現在)

- 発行済株式の総数……124,415,013株(前期末比 増減なし)
- 株主数……………8,949名(前期末比+240名)

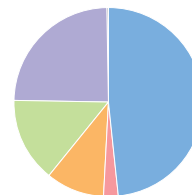
● 大株主(上位10名)

氏 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,682	11.8
三井生命保険株式会社	7,846	6.3
三井住友海上火災保険株式会社	7,497	6.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,210	4.2
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ノーザン トラスト ガンジー アイリツシュ クライアント	4,581	3.7
株式会社三井住友銀行	3,484	2.8
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ)リミテッド ビービー オムコバス クライアント アカウト	3,276	2.6
株式会社竹中工務店	2,484	2.0
三井倉庫従業員持株会	2,407	1.9
三井住友信託銀行株式会社	2,187	1.8

(注)千株未満の株式数は切り捨てて表示しております。
持株比率は自己株式(223,591株)を控除して算出しております。

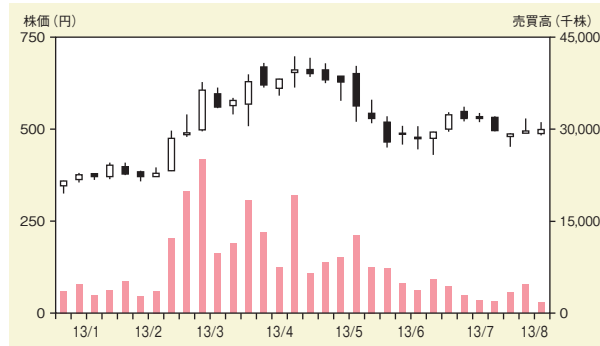
● 所有者別分布状況

金融機関	60,420 千株	48.6%
証券会社	3,039 千株	2.4%
国内法人	12,455 千株	10.0%
外国人	17,953 千株	14.4%
個人・その他	30,323 千株	24.4%
当社(自己株式)	223 千株	0.2%



● 株価及び売買高の推移(東京証券取引所)

(証券コード9302)



● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
同総会における議決権行使株主基準日	基準日現在1単元(1,000株)以上を有する株主 定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第1部)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先、電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-782-031
同取次窓口 公告方法	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 電子公告により、以下の当社ホームページに掲載いたします。 http://www.mitsui-soko.co.jp/

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設された株主様は、三井住友信託銀行株式会社(上に記載の「郵便物送付先、電話照会先」と同じです。)にお申出ください。

■ 未払配当金の支払のお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社(上に記載の「郵便物送付先、電話照会先」と同じです。)にお申出ください。